

院生企画セミナーII 実施報告書

2008年 2月 1日

報告者 複合現象科学専攻 D1 井上洋子

魅力ある大学院教育イニシアティブ「先端科学技術の芽を生み出す女性研究者育成」プログラムによる 院生企画セミナーII 授業の実施について報告いたします。

記

題目：宇宙における分子の進化と氷の役割

講師：渡部 直樹 准教授（北海道大学 低温科学研究所）

日時：2008年 1月 23日(水) 14:00-16:00

場所：本学理学部G棟情報科学科教室 G302

北海道大学低温科学研究所より、渡辺直樹准教授をお迎えして、「宇宙における分子の進化と氷の役割」という題目でご講演を行なって頂きました。講演参加者は25名あり、学年層は学部生から博士後期課程の学生そして本学の教員まで、学科層は数学・情報・物理と幅広い方々の聴講がありました。

講演内容は、恒星や惑星が誕生する、非常に冷たい（-263 程度）「分子雲」と呼ばれる領域を中心にそこで生成されうる物質、そこで起こりうる反応についてご紹介くださりました。生成されうる物質に関しては、どんな物質が生成されるのかを同定する手法、また分子雲の中で起こる未解明の反応に関しては、反応を再現し解明していくための実験手法について詳細に紹介してくださいました。また、天文学会で注目されている渡部先生ご自身の最先端の研究テーマにも触れることができました。渡部先生の研究が進み、さまざまな分子雲の情報が明らかになると、生命誕生の起源がわかるかもしれない、という大変スケールの大きなお話もお聞きすることが出来ました。渡部先生は、学部生にも理解できるように、絵や図を巧みに用いられわかりやすくご講演してくださいましたので、学部の学生から「理解しやすかった」という感想が得られました。



（写真）講演の様子

最後になりましたが、ご多忙の中、本セミナーでの講演を快く引き受けてくださいました渡部直樹先生に厚くお礼申し上げます。ありがとうございました。